



JCLIFE

2016年
12月号



一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail:ojc@urban.ne.jp Facebook: <http://www.facebook.com/isojcnw>

11月例会 未来は僕らの手の中



11月16日(水)に11月例会テーマ「未来は僕らの手の中」と題し、夢や目標に向かってどのように自分をマネジメントして行動すれば実現に近づけるかを考えていただく事を目的として例会行事を行いました。当日は講師に一般社団法人ドリムマップ普及協会にも所属されており、有田靖代氏に起こしていただきました。約一時間という短い時間ではありましたが、会の皆さんを巻き込み自己他者の承認という項目から未来をえがき発表、そして実現のマネジメントという一連の流れで行うことができました。自分の40歳、また40歳を過ぎた後の将来の夢(未来)を考えると、この項目では、皆さんに考えて発表をして頂きました。

皆様には凄く盛り上げて頂き、面白い発表を聞いたのではないかと思います。また例会行事の時間も短かったという事もありますが、自身の今後を考えるきっかけにもなったのではないかと思います。そして最後に、未来を思い描くだけではなくどうしたら実現に近づいて行動できるかという事を有田氏に話して頂きました。何を始め、何を続け、何をやるか。すべて「未来は僕らの手の中」です。



今回の11月例会は4月例会からはじまった我々地域教育推進委員会の担当事業の最後の集大成の事業でした。私の所信のテーマをGrowing Upとして二年間活動してきた結果の事業ができたと思っております。一年間支えて頂いた、委員会の皆様、会の皆様、先輩の皆様本当に有難うございました。そして事業に参加して頂いた市民の皆様本当に感謝しております。

(記事：地域教育推進委員会委員長 大西貴明)



バッチ授与式

されました。

その後2016年度新入会員を代表して池田知和君が挨拶を行い、これからのJC活動への意気込みなどを堂々と熱く述べられていました。

改めまして、10名の新入会員の皆さん、ご入会おめでとうございます！

そして会員の皆様、本年度の拡大活動に多大なるご支援ご協力を頂きまして、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

(記事：拡大研修委員会 副委員長 徳永剛志)



秋期ゴルフ大会

11月23日尾道うずしおカントリークラブにて秋季ゴルフ大会が開催されました。現役、OB交えての大会は雨の心配は無かったものの、日中も肌寒い一日となりました。

ゆったりとしたペースでのラウンドでは大きくスコアが崩れる人もなく楽しくプレイ出来たのではないかと思います。毎年、追いつき大会として開催される秋季ゴルフ大会ですが、この度の大会は卒業生としては思い出に残る大会となりました。



(記事：村上成司)

しまなみ3JC合同引継ぎ会

11月19日しまなみ3JC合同事業「しまなみフィッシング」が因島の地にて開催されました。11月という時期ではありましたが、前日からの雨も3JCの熱い絆の力で完全にやみ無事出港する事が出来ました。3隻の船で出港し一番の釣り名人を競うはずでしたが思うように釣れずJC3信条の修練の場となりました。安本専務理事の釣りあげた一匹のみではありましたが、昼食で美味しく頂きました。19:00からはしまなみ3JC合同引継ぎ会が、千光寺山荘にて行われ、3JCの絆と、今後の活躍、そして次年度の担当者たちの紹介など懇親会を交えて無事閉幕となりました。次年度担当者の皆様、2017年度は宜しくお願ひ致します。

(記事：村上 成司)



シニアクラブ

12月1日(木) 西山別館にてシニアクラブが開催されました。尾道青年会議所シニアクラブ会長 安保雅文先輩より今年1年の運動に対するねぎらいとともに60周年に向けて心強いお言葉をいただきました。10名の卒業生が紹介されシニアクラブへの入会に向けてお祝いをするとともに現役、そしてシニアクラブ会員の皆様と一丸となって60周年に邁進すべく想いを共有する会となりました。ご多用中にも関わらず貴重なお時間を頂戴し、ご参加いただきましたシニアクラブ会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

(記事：池田 憲泰)

歯は命

今年最後は、趣を変えて、消費税と医療費のお話です。保険診療の支払時にも、領収書などもらおうと思います。よく見てもらうとそこに消費税という項目はありません。公的医療保険でカバーされる医療(社会保険診療)は非課税取引です。したがって、医療機関等が社会保険診療を提供する際に、患者から消費税を受け取ることはありません。(但し、自費診療には消費税がかかります。)

通常の事業者は売上に係る消費税額から仕入れに係る消費税額を控除し(仕入税額控除)、差額を納付しますから、消費税は本来的に事業者にとって実質的な負担となるものではありません。ここで、少し違和感を感じませんか? 医療機関は、診療を行うために医薬品や設備等を仕入れる際には消費税を支払っています。しかし、社会保険診療が非課税取引であるが故に仕入税額控除ができず、医療機関等が仕入れに際して支払う消費税は、医療機関のコストになっています。消費税は事業者にとって実質的な負担となるべきものではないことから、診療報酬点数や薬価等を設定する際には、医療機関等が仕入れに際して支払う消費税が医療機関等にとって

実質的な負担となることがないよう、点数を上乘せることで対応をされています。因みにこの直前文は、厚労省のお言葉です。確かに、消費税導入時や改定時に診療報酬点数の改定を行っています。例えば前回の5↓8%の改定時は、全体の平均で、増税分の3%に対しての補填が「1・36%」であると、これも厚労省が明言しています。残りの1・64%はどこいったんでしょうか?

消費税があるたびに、増税分が補填されないため、ただでさえ高価な医療機器の購入や設備投資をすると、補填されていない消費税分損していくという変な事になっていきます。この問題について8%増税時の診療報酬改定で、高額の設備投資をした場合の対応について、別途補填する方法を議論していましたが、結局解決策が見いだせずに見送りになってしまいました。今後、また消費税増税の話が出れば、診療報酬をもっとあげろという議論も当然始まって、ニュースでも出てくると思いますので、今回の話を思い出して頂ければ、「消費税増税↓診療報酬up」という流れが理解頂けるのではないかと思います。今年途中から担当させて頂きましたが、みなさんにとって有意義な読み物になったでしょうか。半年間ご愛読ありがとうございます。

(記事：鍋島 巧)

クリスマス会 「笑顔で明るいクリスマス」

12月4日にクリスマス会「笑顔で明るいクリスマス」を開催しました。「笑顔で明るい」というシンプルなテーマに基づこうと考え委員会で試行錯誤しながら、子供に目一杯楽しんでもらい、奥様には出来る限りのおもてなしとリラックスして頂き、会員には家族の初心を思い出し、もらい家族への感謝を行動にして家族の絆をより一層深めてもらいたい!!という趣旨のもとシナリオを構築していきました。

世界一の男、ピカ太郎を招き世界レベルのショーを開催し、世界一のバルーンアーティストひねり屋メリー氏にお越しいただき会場の装飾会場ゲートなど午前から休む間もなく設営して頂きました。

ホテルの方も、是非残してほしいという事で今年度は3F宴会場の前にバルーンアートがありますのでまだご覧になってない方は是非見に行ってみてください。

そして、世界一のショーでお子さん達が大変喜んで更に色々なバルーンアートをプレゼントしてくれました。メリーさん大変ありがとうございました。

その後、サンタ(本物)とトナカイ(滑舌悪い)にプレゼントをもらい子供たちも大変喜んでいました。

そして、奥様へのバラのプレゼント。日頃の感謝はもちろん、出会ったあの頃結婚をしようと思ったあの日を思い出し、いろんな思いを言葉にしながバラを渡して頂きました。夫婦の絆が深まったと言って頂いた方もいて、有意義な事が出来たと思います。

最後に、クリスマス会が終わり、改めて大変良い会になったと思います。それは、ご参加された皆さま、協力して頂いた皆さま、みんなが楽しんでくれたおかげだと思っております。皆様の方で作り上げた良いクリスマス会ができたこと大変ありがとうございました。

(記事：会員・地域交流委員会 委員 高橋 洋樹)



尾道駅ファンタジー ～こんにちは尾道駅～

11/13の日曜日、駅前広場でJR西日本様のご協力にて事業開催しました。



題して「尾道駅ファンタジー～こんにちは尾道駅～」。沢山の皆様にお越し頂きました。

当日は当委員会初!!晴天の事業でした!!

事業の目的は、尾道駅が建替えになるに当たり、なにか記念イベントが出来ないか、早期から新しい尾道駅のことについて考えることで、地域から愛され、色んな駅はただの交通機関ではなく、大きな魅力をもっているのではないのか?

今の駅舎は125年でプラットフォームの屋根の骨組みには、線路のレールが使用されているなんて建替えになる今頃知るので寂しいですね、だから早期より新しい尾道駅、駅周辺のこれからの可能性、魅力について尾道市民、観光客に考えて、知ってもらうことを目的とした事業です。



当日は展示している古い駅舎、駅周辺の写真に足を止めて思い出話を花を咲かせている方々、本格的なNゲージに足を止めてくださる方々、プラレールに夢中で遊ぶ子ども達、お父さんに製作をお願いしながら作っていたパーククラフト、JR様のご協力により子ども達が集まって作っていたカンパッチ、普段見ることができない切符売り場の裏側も見せて下さいました。駅舎内も案内して下さり、子ども達以上に僕自身が一番楽しんでいたらいいかも??しれません...



観光列車(ラ・マルシマナミ)の車内も案内して下さり大盛況に終わることができました。



アンケート調査を事前に周辺店舗様へ行い、様々な意見を頂き将来を尾道に期待しているご意見を多く見受けました。当日、来場者にもアンケート調査を行い、どのような魅力があるのかなど調査を行いました。集計すると、尾道市民が思っている以上に尾道は観光都市なんじゃないのか、と感じました。



駅はただの交通機関ではなく、地域の魅力、シンボルであることが来場者には伝えることができたのではと感じています。

この事業を行うために、委員会を何度も開催しました。資料作成や事業前日からの設営、事業後の返却、事業自体が2転、3転方向性がかわる中で本当に最後まで着いて来てくれた委員会メンバーに感謝しております。本当にありがとうございました。残りの事業も明るく開催していきます。

最後になりましたが、全面的に協力して下さった、片岡尾道駅長を始めとするJR西日本様には非常に感謝しております。誠にありがとうございました。

(記事：会員・地域交流委員会 委員長 山本 慎也)



委員長あいさつ



まちづくり推進委員会

皆様、一年間誠にありがとうございました。お祭り委員会の委員長ということもあり、現役会員の皆様には多くのご協力をいただきました。また、OB特別会員の皆様にもお願いばかりであったと思います。

副理事長、副委員長、そしてぶれてばかりの委員長を支えていただいた委員会メンバーの皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。

本年受けたご恩は、JC活動を通じて少しずつでも皆様にお返ししていければと思っております。本当にありがとうございました。

委員長 中司 昌克



未来ビジョン委員会

未来ビジョン委員会では、日本遺産尾道の事業では、過去現在未来の3部構成で、地域の小学生を対象に事業をしました。子供達には、改めて自分達が住んでいる尾道が素晴らしいと言う事を感じて貰えたと思います。また青年経済人では、ロボットをテーマとし、これからの未来を勉強して頂きました。夏期講習では、サバイバルゲームを通じて、メンバーの絆が深まり、色々な状況判断を考えて頂ける機会となったと思います。1年を通じてさまざまな事業に協力して頂いたメンバーの皆様にも改めて御礼を申し上げたいと思います。1年間本当にありがとうございました。

委員長 中谷 純也



地域教育推進委員会

地域教育委員会、委員長の大西です。一年と数ヶ月有難う御座いました。皆様のお陰で無事委員長の役も12月をもちまして終えることとなります。

まちと人と大輪を築く為にはどうしたらいいか、私なりに紐解き所信をGrowingUpとして活動してきました。

一年を振り返ると色々な方に助けて頂いたと思います。委員会では幹事の中本さん、中島さんには細かい仕事など毎度毎度お願いさせて頂き助けて頂きました。また委員会メンバーには事業の組み立てなど自分では配慮できない箇所など補って頂き誰一人かけても今日を迎えていなかったと思います。そして工藤副委員長には私の考えもすべて汲み取って頂き、委員会メンバーとの潤滑油のような役割をこなしてもらい私の至らぬ点を全てカバーして頂いたと思っております。卒業予定者の本多直前理事長ご卒業おめでとう御座います。

本多直前理事長には私が気を使わないといけないにも関わらず色々な場面で気を使って頂きました。有難う御座いました。

辻副理事長も卒業予定者にも関わらず副理事長お疲れ様で御座いました。辻副理事長には色々な箇所でご心配などかけました。また私の考えも尊重して頂きとても感謝しております。

そして正副事務局監事の皆様も色々な場面で声などかけていただき励みにさせて頂きました。

委員長、副実行委員長、副委員長の皆様同じ立場、また理事メンバーとして活動させて頂き皆様のお陰で徐々にですが前向きに楽しみながら出来てきたと思っております。

また会の皆様、様々な事業の要所要所でお手伝いした動員、ご参加頂き本当に有難うございました。最後の担当行事であった11月例会では皆様と和になれたと感じております。

2016年の一年間振り返ると書ききれませんが、本当に感謝しております。有難う御座いました。

委員長 大西 貴明



会員・地域交流委員会

入会すること15年…ようやく委員長に選んで頂く事ができました。麻生理事長には大変感謝しております。もうなれないのかなと半分諦めていましたから。

尾道青年会議所で一番、色々な委員長を見てきて色々なことを体験しているのが僕ということになります。そんなプレッシャーがこの一年は付きまわりました。少しでもこの様なプレッシャーに負けないために、委員長テーマを「明るく」として、とにかく委員会は明るくなくては、なにも進まないし、暗くはマイナスなことしかない!!と思いついてテーマとしました。

前半は委員会をどう開催していいかわからず、むやみに何も僕の中で決まっていな中開催して結局なにも決まらずに終わった委員会は多々ありました。そこから委員会開催恐怖症が始まりました。

委員会メンバーが「この委員長はかなり大きな大棒を決めたら後は委員会メンバーが進めていかなければいけないんだ」と諦めてくれたのか、理解してくれたのかは分かりませんがそこから委員会がスムーズに活動できたのだと思います。委員会メンバーは実働で活躍してくれるメンバー、辛口で怒ってくれるメンバー、普段はなにもしないけど、いざとなったらどっしりと構えて僕を支えてくれるメンバーがいる、サイコーの委員会メンバーをありがとうございます!

1つの事業以外全て雨が降りましたが、中でも明るく終えることができ本当にみんなありがとうございました!!!

委員長 山本 慎也



拡大研修委員会

本年度、拡大研修委員会委員長を務めました今岡正英です。今年一年を振り返った時、本当に多くの人の力を借りてきたことを実感しています。特に拡大という大きな命題がある中、JCメンバーやOBの方々からの情報やアドバイスはなくてはならないものでした。新入会員は10名という結果となりました。本当に皆様にも感謝しております!ありがとうございました!

委員長 今岡 正英



総務広報委員会

2016年度の総務広報委員会の委員長として携わり、段取りの大切さを実感しました。ルーティーンならではの緊張感と、間違いが許されないというプレッシャーに何度も悩まされた事もありました。在籍最後の年に委員長をさせて頂き、理事会に出席し、やっとJCの本当の楽しさを実感し、その経験が良かったと感じることが出来た事は私にとって大きな宝となりました。委員会メンバーにはいつも助けられ、特に幹事の岡本君、鍋島君の活躍と、協力が委員会には欠かせなかったと思います。お力添え頂きました皆様。心から感謝しています。大変ありがとうございました。

委員長 村上 成司



LOM支援実行特別委員会

LOM支援実行特別委員会の大池です。この1年間、麻生理事長をはじめに尾道青年会議所の皆様には大変お世話になりました。

私の所信のテーマのとおり最高の仲間を支えられた1年でした。

本当にありがとうございました。

副実行委員長 大池 茂仁

早いものでもう12月も半ばとなりました。2016年度理事に選出された皆様も一年の終わりが近づいていることを実感しているのでは無いでしょうか。私も今月でJC生活最後のJCLIFEの編集となりますが、毎月連載して来た鍋島巧君の「歯は命」記事は特に楽しみに読ませてもらい、目から鱗な事が多かったなと思っています。日常噂で聞いた事を何気なく信じ、それが当たり前のように思っていたこともありました。炭酸飲料を飲んだ後に歯磨きをする事は良くないのだと言う事も原理から知ることが出来ました。青年会議所には様々な業種の多くのメンバーがいます。異業種の集まりだから団結する事で何でも出来る。そんな環境で10年間お世話になった事に感謝しています。多くの友人にそして委員会メンバーに一言「ありがとう」 (記事:村上 成司)